

遷御

皇大神宮 十月二日 午後六時参進
 午後八時出御
 豊受大神宮 十月五日 午後六時参進
 午後八時出御

※除 裾取奉仕者

次第

臨時出仕

一五・〇〇
 弁備

参進前

祭庭係と共に弁備

- ・正宮 中重 内院
- ・新宮 中重 内院

〔式外参列員・参列員・供奉員手水〕 ※道敷下庭敷兼務

・午後五時頃、内宮神楽殿東側に向かい、式外参列員手水奉仕
 (外宮は無し)

・午後五時二十分饗膳所前 (外宮は清盛楠前) にて参列員手水奉仕 (代表者)

・午後五時二十分頃参集殿入口 (外宮神楽殿入り口) に向かい
 供奉員の手水奉仕

(五時三十分予定、係員案内の上記念写真、御塩を受け参進)
 (松明奉仕者)

	内宮	外宮
式外参列員	五時二十分頃 第一鳥居より奉仕 正宮板垣御門前東まで	五時十分頃 第一鳥居より奉仕 新宮板垣御門外西まで
参列員	五時三十分頃 第一鳥居より奉仕 正宮板垣御門外まで	五時三十分頃 第一鳥居より奉仕 正宮板垣御門前まで
供奉員	五時四十分頃 第一鳥居より奉仕 正宮外玉垣御門前まで	五時四十分頃 外宮神楽殿前より 正宮外玉垣御門前まで
勅使 (左)	五時五十五分 齋館正門前左右に待機 火先を列の内側に低く 持つ	五時五十五分 齋館正門前左右に待機 火先を列の内側に低く 持つ
祭主 (右)		
宮司 (左)		
諸員 (右)		
	(左) 煙、燃え落ちに注意 ① 齋館へ第二鳥居 ② 玉串行事所 ③ 正宮外玉垣御門前	(左) 煙、燃え落ちに注意 ① 齋館へ第二鳥居 ② 玉串行事所 ③ 正宮外玉垣御門前 (五丈殿南)

(五時三十分予定 係員案内の上記念写真)

〔庭燎奉仕者〕

・担当庭燎位置に先着 (五時三十分頃)

点火 (提灯の火を消す)

〔祭庭係付・伝令〕

・北御門を経て正宮内院に入り、正殿大床下及び瑞垣御門脇に
 候す (五時三十分頃)

〔正宮・新宮御鑰辛櫃奉仕者〕

・五時三十分、齋館祭庭玄関に集合し、正宮御鑰辛櫃・新宮御
 鑰辛櫃をそれぞれ昇立て、御鑰所役の宮掌と共に表参道を参
 進

・正宮・新宮とも各板垣南御門より参入し、中重所定の葉薦の
 上に昇据える (祭儀中は中重西南 (西) 庭燎の横に蹲踞)

〔祭文版・召立提灯等奉仕者〕

・五時四十分頃、提灯を持ち修祓所役の宮掌に付き添い第一鳥
 居内祓所に向かう
 ・修祓畢りて用具を出仕心得に付し、第二鳥居外に向かう

一八・〇〇

勅使以下参進
祭主以下参進

勅使以下第二鳥居外に列立
祭主以下第二鳥居外に列立
対揖

勅使以下修祓
参進

勅使以下玉串行事所列立
祭主以下玉串行事所列立
対揖

玉串行事
勅使・勅使随員

祭主

大宮司・少宮司

禰宜 一座

二座

三座

四座

権禰宜以下

勅使以下中重著版
祭主以下中重著版

太玉串を内玉垣御門下に納む

大宮司に御鑰を進む

勅使以下内院著版
祭主以下内院著版

勅使祭文奏上

大宮司少宮司「正宮開扉
殿内及び大床に燈を点す
祭主殿内に候す
大宮司少宮司禰宜殿内に候す
(総立ち)

・勅使松明奉仕
・祭主・宮司・諸員松明奉仕

※松明所役第二鳥居を過ぎ、東西にて待機

・勅使松明・祭主・宮司・諸員松明奉仕

[祭文版・召立提灯等奉仕者]

・修祓所役より大麻・御塩を預かり 出仕心得に付した後、神樂
殿裏(外宮は忌火屋殿前)を通り、北御門より内院に参入し、
祭文版横に蹲踞(提灯持参)

※松明所役玉串行事所手前にて、東西に分れ待機
此際松明持ち替えを検討中

・勅使松明、正宮外玉垣御門前まで奉仕、

板垣御門前の庭燎位置で消火し、板垣御門内西側に候す

・祭主松明、正宮外玉垣御門前まで奉仕、

板垣御門前の庭燎位置で消火し、板垣御門内西側に候す

・宮司松明、正宮外玉垣御門前まで奉仕、

板垣御門前の庭燎位置で消火し、板垣御門内西側に候す

・諸員松明一座、禰宜一座に奉仕、石階中間よりやや上で止まり

・諸員参入まで内側を照らす

(外宮は外玉垣御門前まで奉仕、以下同じ)

・諸員松明二座、禰宜二座に奉仕、石階やや下で止まり、諸員参

入まで内側を照らす

・諸員松明三座、禰宜三座に奉仕、石階下で止まり、諸員参入

まで内側を照らす

・諸員松明四座、禰宜四座に奉仕、参道中間で止まり、諸員参入

まで内側を照らす

・諸員松明五座、権禰宜以下総員参進の際奉仕

諸員松明各列に続いて進行、正宮外玉垣御門前まで奉仕

板垣御門前の庭燎位置で消火し、板垣御門内西側に候す

※雨儀の傘運搬、その他の用務に控える

[正宮御鑰辛櫃奉昇奉仕者]

・禰宜の行事が終わる頃、御鑰辛櫃の両側に進み蹲踞

[正宮御鑰辛櫃奉昇奉仕者]

・御鑰辛櫃開閉

・中重の版を撤す

[正宮御鑰辛櫃奉昇奉仕者]

・御鑰辛櫃を内玉垣御門内西に移す

[祭文版・召立提灯等奉仕者]

・祭文版を設け、御祭文畢りて版を撤す

[内院東庭燎]

・祭文松明所役に松明を渡す、畢りて受ける

[内院弁備奉仕者]

・版を撤す

禰宜権禰宜新宮中重著版
御鑰を禰宜に進む

禰宜権禰宜新宮内院著版
禰宜新宮開扉
禰宜正宮へ帰参
殿内及び大床に燈を点す
諸員階下列立

召立
鶏鳴
出御
渡御

入御

御道敷布を撤す
祭主殿内に候す
禰宜大床及び御階に候す
召立

〔道敷下莚敷奉仕者〕
・道敷所役の宮掌補と共に道敷下莚を設ける
（東西と二人一組となり、順次數設する、予め翌打合せのこと）
〔新宮御鑰辛櫃奉昇奉仕者〕
・禰宜以下が東御門より参入の頃御鑰辛櫃の両側に進み蹲踞
〔新宮御鑰辛櫃奉昇奉仕者〕
・御鑰辛櫃開閉

〔祭文版・召立提灯等奉仕者〕
・正宮階下東側、召立所役の権禰宜の後方に候す（提灯持参）
・提灯で照らす（畢りて退き蹲踞）

〔祭文版・召立提灯等奉仕者〕
・御列が瑞垣南御門外に出た頃、北御門を経て新宮に移動し、東側後方に蹲踞（提灯持参）

〔庭燎奉仕者〕
・前陣の秉燭所役、後陣の御火所役に松明を渡し、また受ける
（正宮中重東・西庭燎）

・御列の先頭が内玉垣南御門を出る頃に松明に火をつけ、東西秉燭所役に松明を進める
・庭燎に火を覆い、再び点火の後、松明に火をつけ、東西御火所役に松明を進める

〔新宮中重東・西庭燎〕
・東西秉燭所役また東西御火所役から松明を受け取る
・出御の際、濡筵にて火を覆い、再び燃やす

〔正宮内院庭燎〕
・勅使が出御を奏した後火を覆い、内玉垣御門を出る頃燃やす
（正宮中重庭燎）

・楽師が内玉垣南御門を出ること火を覆い、絹垣が外玉垣南御門にかかる頃燃やす

〔正宮板垣外庭燎〕
・楽師が前に差し掛かる頃火を覆い、祭主が通過した後燃やす
（新宮板垣外庭燎）

・楽師が前に差し掛かる頃火を覆い、祭主が通過した後燃やす
（新宮中重庭燎）
・楽師が外玉垣南御門に入る頃火を覆い、絹垣が内玉垣南御門にかかる頃燃やす

〔新宮内院庭燎〕
・楽師が瑞垣御門前に到着の頃火を覆い、入御の後燃やす
（松明奉仕者）

・頃合いを見計らい、新宮板垣御門内西側に移動し候す
※雨儀の傘運搬、その他の用務に控える
〔道敷下莚敷奉仕者〕
・祭主の後に道敷下莚を巻き、適宜の位置に仮置きする

〔祭文版・召立提灯等奉仕者〕
・正宮階下東側、召立所役の権禰宜の後方に候す（提灯持参）
・提灯で照らす（畢りて退き蹲踞、諸員著版時祭文版に移動蹲踞）
〔内院弁備奉仕者〕
・召立、神宝が大方奉納畢る頃、祭庭係の合図により権禰宜以下の版を設く

・召立全て畢つて、祭庭係の合図により勅使以下、祭主以下の版を設く
・北御門を経て古宮に至り、内院及び御垣内の弁備を片付ける

禰宜著版
祭主著版
権禰宜燈を撤す
大宮司少宮司新殿閉扉
勅使祭文奏上

〔祭文版・召立提灯等奉仕者〕
・祭文版を設け、御祭文畢りて版を撤す
〔内院東庭燎〕
・祭文松明所役に松明を渡す、畢りて受ける

大宮司勅使に遷御畢る旨を申す
諸員中重の版に着く

〔新宮御鑰辛櫃奉舁奉仕者〕
・御鑰辛櫃の両側に進み蹲踞
〔松明奉仕者〕
・板垣御門前の庭燎に進み、松明に火をつけはじめ、退下時の奉仕に備える

大宮司御鑰を宮掌に付し之に封を附く

〔新宮御鑰辛櫃奉舁奉仕者〕
・御鑰辛櫃開閉、畢りて中重西南庭燎（外宮は西庭燎）の位置へ速やかに進む
〔松明奉仕者〕
・松明を執り、外玉垣南御門外所定の位置に着く

諸員奉拝八度拍手両端

〔式外参列員は既に退下に付、奉仕員は参列員に付き奉仕する〕
〔松明奉仕者〕

諸員退出
勅使・勅使随員

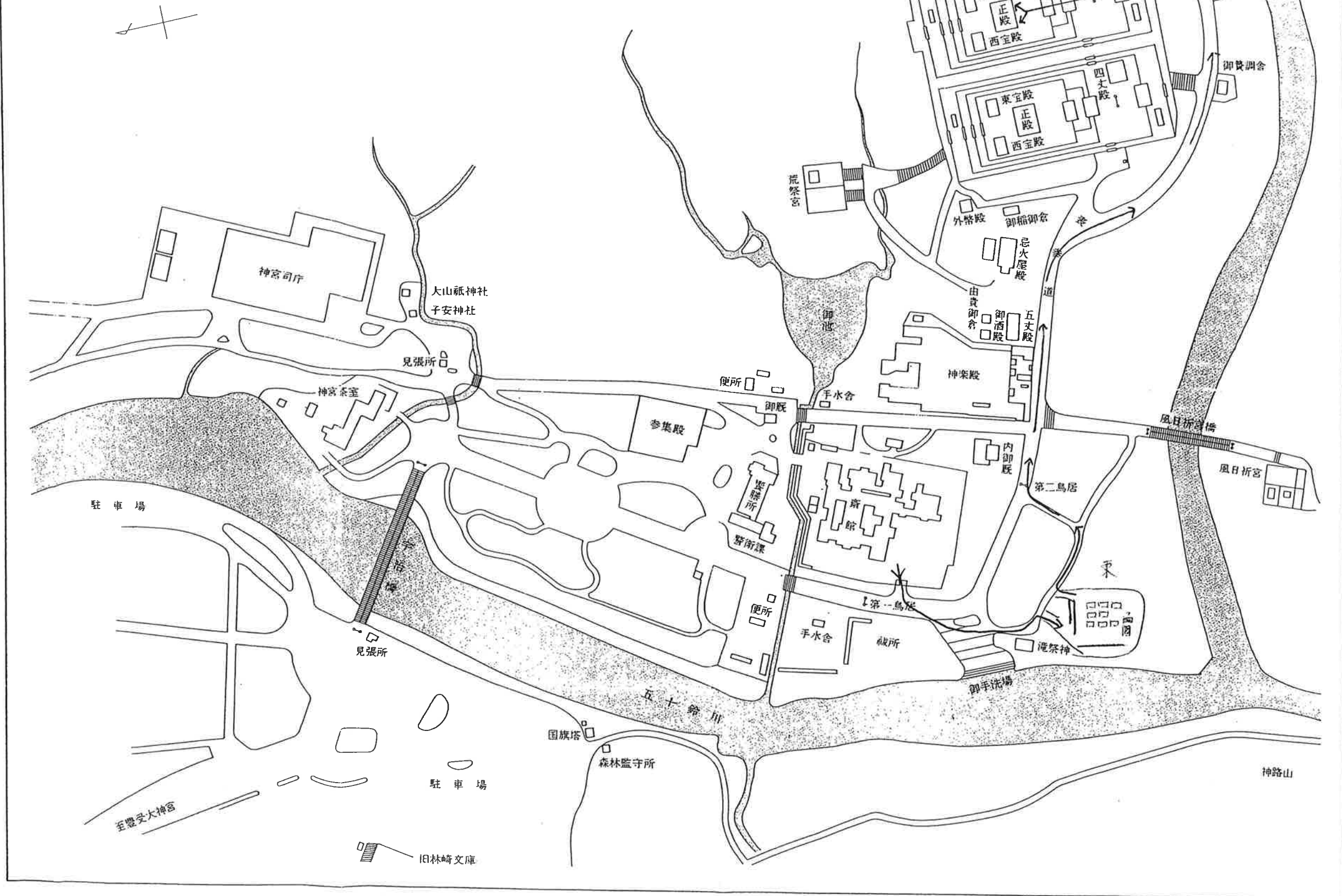
祭主松明
宮司松明
諸員松明
供奉員松明
参列員松明
〔松明奉仕者〕
・列の先に候する

荒祭宮（多賀宮）遙拝所列立
諸員奉拝八度拍手両端
退下

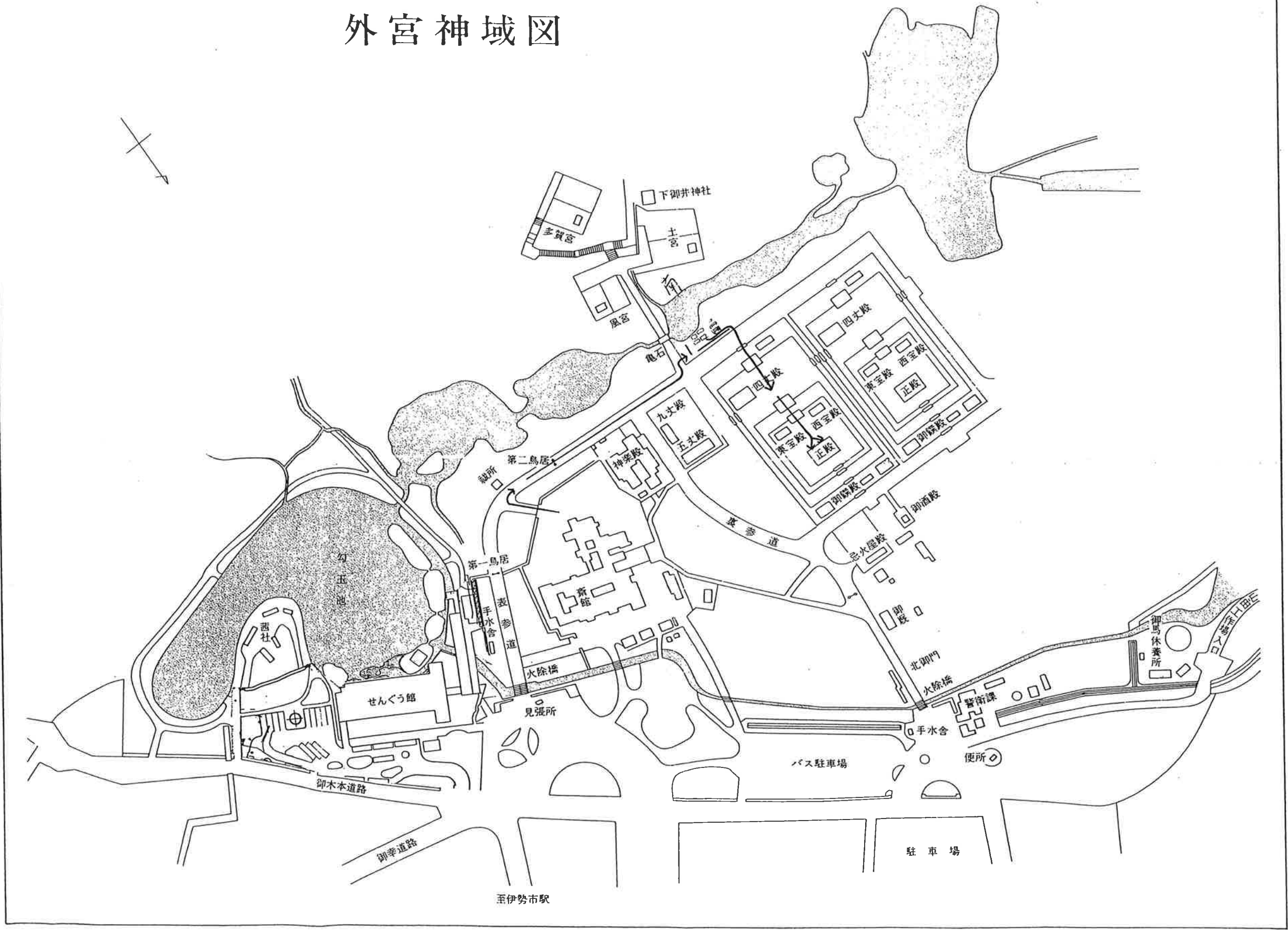
勅使松明（斎館正門内まで）
祭主松明（斎館正門内まで）
宮司松明（斎館正門内まで）
諸員松明（斎館正門外まで）
供奉員松明（第一鳥居まで）
参列員松明（第一鳥居まで）
〔内院弁備奉仕者〕
・新宮内院及び御垣内の弁備片付け

勅使・勅使随員
祭主
大宮司少宮司
禰宜以下
供奉員
参列員

内宮神域図



外宮神域図



至伊勢市駅